



# 論説

## 坂井の食発信

(似顔 本間康司)

坂井市の豊かな食と食文化の発信が積極的に繰り広げられている。特に注目されるのは市商工会が展開する「越前坂井 うちの極味膳」「越前坂井 辛み蕎麦」あなたの蕎麦で辛み隊「越前坂井ブランド化戦略」の「3本の矢」。今もこれから「食の坂井」アピールの中心になるのは間違いない。商工会はもちろんで、商品提供の現場も心を合わせ足元を常に固めながら進んでほしい。

「極味膳」は地域の食材を使い店舗ごとにオリジナル料理を

提供するもので、2011年秋にスタートし現在は54店舗で展開。累計提供数は3万食を超えた。新たにスイーツを加えた事業拡大を進めている。

「辛み隊」も同年に発足した。大根おろしの汁をだしに入れて食べるそばを「越前坂井 辛み

蕎麦」と名付けアピール。ご当地グルメが集う「B-1グランプリ」に出展できる「愛Bリーグ」の正会員にこのほど認められた。推奨店は現在14。拡大を目指している。

12年度から取り組む「ブランド化戦略」は、優れた特産品の

「もてなし」高め続けたい

「もてなし」は地域の食材を使い店舗ごとにオリジナル料理を

提供できれば素晴らしいことだ。先のフォーラムでも「地域一体で製品の独自性を語られる」との重要性が示された。

市民誰もがというのは非現実的でも、そこへの積み重ねは怠れない。地元、現場が胸を張って誇れることが何よりのアピールになる。商工会を核にさらに事業の質を高めてほしい。

憲法改正をめぐる主な首相発言

まずは(改憲発議要件を緩和する)96条改正にチャレンジしたい。夏の参院選でも堂々と改正を掲げて戦うべきだ  
[4月23日、参院予算委員会]



96条改正は、まだ国民的議論が深まっているとはいえないし、理解が十分とはいえない。友党の公明党とも丁寧に議論していきたい  
[5月5日、都内で記者団に]

(改憲発議に必要な)3分の2以上の議席を1回の参院選で取るのは不可能だ。日本維新の会やみんなの党だけではなく、民主党の中にも条文によっては賛成する人がいる  
[6月17日(日本時間)、訪問先のポーランドで記者団に]

自民党の案では駄目だが、ここを修正すればいいということであれば、当然政治は現実なので考えていきたい  
[7月7日、NHK番組]

総裁)が7日、党憲法改達成した」。首相はNH憲法3原則に関する条項162議席。改憲に前向き。公明党の山口那津派を「96条先行改正に反対」する。正草案の修正も辞さない。K番組で、改憲発議要件は要件緩和の対象外とする。考えを示し、目指す改憲を緩和する憲法96条の先を行政正論をぶち上げ、議決に向けて柔軟姿勢を鮮明にした。民主党の一部や、改憲に慎重な公明党に秋波を送り、協力を引き出したい意向が透ける。参院選で大勝しても改憲勢力が参院で発議に必要な3分の2の議席を確保するのは難しいとの情勢判断が背景にありそう。

## 最前線 2013参院選

「これだけ憲法議論が高まったのは初めてだ。」

公明党への配慮で5月引き出した意向が透ける。上旬から先行改正論をトーンダウンさせ、6月が、時間をかけるよう。3党合計で20議席程度不足。占領期の憲法を見直す。首相は7日、山梨、神奈川両県での街頭演説で「民主憲法制定」が本音。3分の2は至難の首相サイドと隔たり。改憲論に触れなかつた。参院選後をにらみ、過度に各党を刺激するのは得策でないとの判断も向けたウイング拡大が党も「改憲前にすべき」にむく。